

講座 No.17 全消しの取り方使い方 著: drapom 作成日付: 2014/02/22

案外困っている人の多い、全消しの使い方、案外取りにくい全消しの取り方など様々な視点から書いていければと。

2014年今現在のぷよ界では3手全消しですら馬鹿全と言われる世知辛い時代です。様々なパターンによって馬鹿全になる、ならないと結構細かいので、今回は深く考えないことにします。まあS級やA級相手にするとなると話は別ですが・・・。

「全消し」と一言で表してもその技術要素は多岐にわたります。さらっと書き出してみると

- ・カウンターへの左右組む場所はどうするか。
- ・取って良い全消しと、取ってはいけない全消し（馬鹿全とも）
- ・初手周りと降ってくる配ぷよとの全消し相関
- ・全消しを取る確率
- ・全消しを使うタイミング。先に使うか、後に使うかなども

などなど色々あります、

細かい状況によって良手・悪手と切り替わるので、様々な場面でそれぞれしっかり考察していくようにした方がいいと思われます。

繊細さが求められる一試合である所が全消し戦の面白い所だと思います。

もし興味があればどんどん調べてみてください。

書き始めてどういった視点から切り込んでいくべきか困っている状況でもありますが

今回は全消しを取り逃がさない置き方について考えてみようと思います。

下の図(Figure4まで)は4色4連鎖で全消しを取ろうとする場面でよくありがちな状況。初手周りで形を横に広げすぎるとこのような状況に陥りがちです。ダブルネクストに気を使いつつ組んでいくか、連鎖の方向性を確定させない置き方や初手数手は高く置くことを心がける、発火色を複数持っておく状況にするなどがポイント。

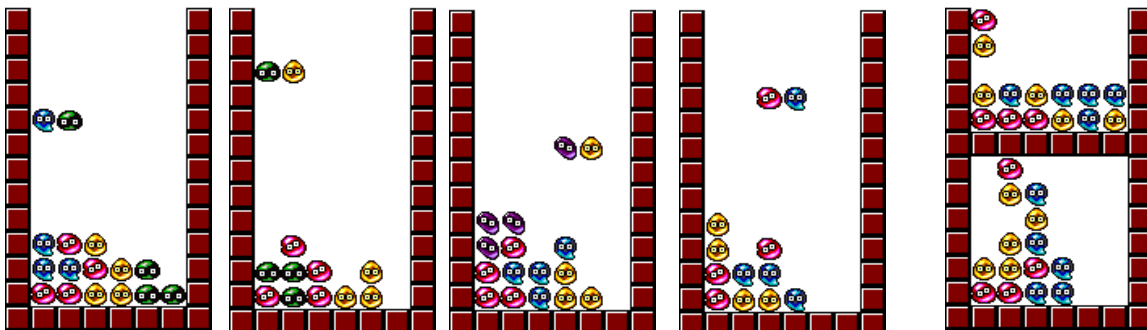


Figure 1

Figure 2

Figure 3

Figure 4

Figure 5

ついでの話でもありますが、4連鎖で全消しを取ると大体馬鹿全になるので、相手のフィールド状況を見て隙がある状態だと判断できる場合、3ダブなど連鎖数を短くして全消しを取れる状況になっている場合にしましょう。

- ・5個消し以上を含む全消しの場合

Figure 5は変則的な全消しパターン。ブロック上の配色が左下から右へ、次は上のぷよが落ちてくると考えてください。

GTRを狙う場合、全消しを取るには結構無理しないと取れないような配色。(GTRはカウンターに逃げられる余地も残っていますが、ここでは深く考えません-w;))

気をつけるポイントとしては、・同じ色は極力集めるようにする。

特に3色だけがひたすら降ってくる場面では必ず全消しが出来ます。これは全消しになりそうだった場合は特に気をつけましょう。

そしてやはりではありますが、ダブルネクストには特に気をつけつつ適切な箇所に置いていけるように。